単元名

できるようになったよ ありがとう だいさくせん ~「もうすぐ 2ねんせい」~

日 時 令和4年2月24日(木) 第5校時

場 所 1年2組教室

学 級 第1学年2組(29名)

1 単元のデザイン

本単元の目標

入学してからの1年間を振り返ったり新1年生と関わったりする活動を通して、1年前の自分と今の自分を比べたり支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分自身の成長や役割が増えたことに気付くとともに、支えてくれた人への感謝の気持ちと進級への期待感や意欲をもって生活しようとすることができる。

単元観

本単元は、入学してからの1年間を振り返ったり、幼児と関わったりする活動を通して、1年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分自身の成長や、役割が増えたことに気付くとともに、支えてくれた人への感謝の気持ちと進級への期待感や意欲をもって生活しようとすることができるようにすることをねらいとする。

本単元では、まず児童は来年度入学してくる新1年生を学校に招待し、交流会を行う。その過程で、1年前の自分と今の自分を比べ、自分自身の成長や役割が増えたことに気付くことができる。その後、1年間を振り返る活動を行う。自分ができるようになったことや内面的な成長に気付くとともにその成長には、支えてくれた人がいることに気付くことができる。

本単元と実生活との関わり

本単元を通して児童は、自分自身の成長に気付くとともに、その成長を支えてくれた人々がいることに気付く。その気付きから、今後の成長への期待をもち、何事にも積極的に取り組もうとする姿が期待できる。また、支えてくれた人への感謝の気持ちを持つことで、人に対する感謝の気持ちをもとうとする姿が期待できる。

児童生徒観

前単元や他教科のワークシート、レディネステスト、 事前の意識調査の分析を行った。結果は以下の通りである。

	内容	通過 率 說腳
知	自分にはよいところがあります。	82%
知	1 年間で成長したことやできるように なったことを3つ以上書く。	41%
課	解決しようとする課題について、「なぜ だろう」、「やってみたい」と思います。	75%
情	授業では、調べたことなどを、図、グラ フ、表などにまとめています。	50%
協	授業では、課題の解決に向けて友達と協 力して取り組んでいます。	83%
Х	ふだんの生活や学習の中で、これまでに 学習した内容や学習の進め方を使って います。	79%

以上の結果から、本学級の児童の課題として、自分の 良さには気付いているものの自分の成長には気付いてい ないことが挙げられる。その原因として、児童が成長に 気付けるような声掛けが不十分だったと考えられる。ま た、調べたことをまとめる活動に苦手意識を持っている 児童が多い。表にまとめる活動が少ないことが原因であ ると考えられる。

指導観

- 1年間を振り返る活動をする際に、季節の仲間分けをした表を用いて、行事や学習したことを振り返り、表にまとめる活動を行うことで、積極的に表にまとめる活動に取り組めるようにする。
- 自分の成長を振り返る手立てとして、入学当初に書いた自分の名前や絵、行事の写真、授業で作成したものを提示し、自分自身の成長に気付きやすくなるようにする。
- できるようになったことを、絵や文で表し、友達と意見交換をしたり、保護者に向けて発表したりすることで、できるようになった背景には、支えてくれた人がいることに気付けるようにする。
- 新1年生のためにしてあげたいことを考えて計画を立て実施したり、1年間でできるようになったことをまとめて紹介したりすることで、自分の成長に気付き、次年度への期待が高まるようにする。

2 単元の評価規準

学習指導要領 に示す目標や 内容	知識及び技能	思考力、判断	新力 、 表現力等	学びに向かう力、	人間性等
本校	知識及び技能	課題発見•解決力	コミュニケーション能力	粘り強く学習に取り組む態度	自己調整力
本単元	入学してからの 1	入学してか	課題解決に向	入学してからの	学習した
	年間を振り返ったり	らの 1 年間を	けて、友達の考	1 年間を振り返っ	ことを振り
	年長児とかかわりを	振り返った	えや意見を聞き	たり、年長児とか	返り、学習
	深める活動を通した	り、年長児と	ながら意欲的に	かわりを深める活	や生活に生
	りし、身近な人々と	の関わりを深	活動に取り組む	動を通して、これ	かそうとす
	関わることのよさや	めたりする活	こと。	までの成長を支え	ること。
	楽しさ、自分が大き	動を通して 1		てくれた人々に感	
	くなったこと、自分	年前の自分と		謝の気持ちをも	
	でできるようになっ	今の自分を比		ち、これからの成	
	たこと、役割が増え	べたり、支え		長への願いをもっ	
	たことなどへの気付	てくれた人々		て、意欲的に生活	
	き。	との関係を見		しようとするこ	
		付けたりする		と。	
		こと。			

3 本単元に関わる問い

本質的な問い	単元を貫く問い	個別の問い	
自分は、どんな人間な のだろうか。	自分のよさとは、何だろうか	 ・年長さんが、入学が楽しみになるようにするためにはどのようなことができるだろうか。 ・入学してからの1年間でどんなことができるようになっただろうか。 ・新しい1年生のために自分たちができることは何だろうか。 ・だれにどんな「ありがとう」を伝えたらよいだろうか。 	

4 単元の評価規準及びルーブリック

学習指導要領に 示す目標や内容	資質・能力 (本校)	観点	А	В	С
知識及び 技能	知識及び 技能	知識	1年間を振り返る活動 を通して、身近な人々 と関わることのよさや 楽しさ、自分でできる ようになったこと、役 割が増えたことなどを 様々な視点から考え気 付いている。	1 年間を振り返る活動 を通して、身近な人々 と関わることのよさや 楽しさ、自分でできる ようになったこと、役 割が増えたことなどに 気付いている。	1 年間を振り返る活動 を通して、身近な人々 と関わることのよさや 楽しさ、自分でできる ようになったこと、役 割が増えたことなどに 気付いていない。
	課題発力	課題設定	何をしたいか、何を伝えたいか考え、主体的に課題を設定している。	何をしたいか、何を伝 えたいか考え、課題を 設定している。	何をしたいか、何を伝 えたいか考え、課題を 設定していない。
		情報収集	写真や体験したこと、 友達から聞いたことな どから多くの情報を収 集している。	写真や体験したこと、 友達から聞いたことな どから情報を収集して いる。	写真や体験したこと、 友達から聞いたことな どから情報を収集して いない。
思考力、判断力、表現力等		整理•分析	写真や体験したことなどを基に、その特徴から新1年生に伝えたいことを選んでいる。入学した時の自分と現在の自分を比較し、できるようになったことを多く見付けている。感謝を伝えるためには、どのようにすればよいか多くの方法に気付き、試そうとしている。相手や目的に応じて、活動や発表の仕方を考	写真や体験したことなどを基に、新1年生に伝えたいことを選んでいる。 入学した時の自分と現在の自分を比較し、できるようになったことを見付けている。感謝を伝えるためには、どのようにすればよいかに気付き、試そうとしている。	写真や体験したことなどを基に、新1年生に伝えたいことを選んでいるとを選んでいない。 入学した時の自分と現在の自分を比較し、できるようになったことを見付けていない。 感謝を伝えるためには、どのようにすればよいかに気付き、試そうとしていない。
		まとめ・表現	え、よりよいものにし ようと工夫している。	え、工夫している。	え、工夫していない。
	コミュニ ケーショ ン能力	協働性	課題解決に向けて、友達のアドバイスや意見を聞きながら意欲的に活動に取り組み、そのよさに気付いている。	課題解決に向けて、友達のアドバイスや意見を聞きながら活動に取り組み、そのよさに気付いている。	課題解決に向けて、友達のアドバイスや意見を聞きながら活動に取り組み、そのよさに気付いていない。
学びに向 かう力、人 間性等	粘り強く 学習に取 り組む態 度	粘り強く学習に 取り組む態度	これまでの成長を支え てくれた人々に感謝の 気持ちを持ち、これか らの成長への願いをも って、意欲的に生活し ようとしている。	これまでの成長を支え てくれた人々に感謝の 気持ちを持ち、これか らの成長への願いをも って、生活しようとし ている。	これまでの成長を支え てくれた人々に感謝の 気持ちを持ち、これか らの成長への願いをも って、生活しようとし ていない。
	自己調整力	メタ認知	学習したことを振り返り、学習や生活に適切に生かそうとしている。	学習したことを振り返り、学習や生活に生か そうとしている。	学習したことを振り返り、学習や生活に生か そうとしていない。

[※]下線のある評価基準は生活科の評価基準と重複するもの

5 単元と評価の計画(全18時間)

n+	₩ 73 / T ₹4	評価			
時	学習活動	知	思	態	評価規準(評価方法)
1	課題の設定 入学前や入学直後の気持ちを振り返り、新しい 1 年生と何をしたいか、何を伝えたいかについて話し合う。				何をしたいか、何を伝えたいかから課題を設定している。 (ワークシートの分析)
2 . 3 .	情報の収集 整理・分析 交流会の計画について話し合 う。		情整		・写真や体験したこと、友達から聞いたことなどから情報を収集している。 (行動観察)・写真や体験したことなどをもとに、新しい1年生に伝えたいことを選んでいる。
4	友達にアドバイスしたり、教え合ったりしながら交流会の練習をする まとめ・表現		ま	協	(行動観察) ・課題解決に向けて、友達のアドバイス や意見を聞きながら活動に取り組み、 そのよさに気付いている。 (行動観察) ・相手や目的に応じて、活動や発表の仕 方を考え、工夫している。
5 6 7	会場を整え、全体の会を想定して準備・リハーサルをする。 新しい1年生を招待して、一緒に活動する。				(行動観察)
8	ぶり返り 新しい 1 年生と関わって感じた ことや気付いたことを話し合う。	知	整		 新 1 年生と関わることのよさや楽しさに気付いている。 (ワークシートの分析) 入学した時の自分と現在の自分を比較し、できるようになったことを見付けている。
9	情報の収集 写真や動画などの手がかりをも とに、1 年間の出来事をみんなで 振り返る。		情		(ワークシートの分析) ・写真や体験したこと、友達から聞いたことなどから情報を収集している。 (行動観察)
10 •	整理・分析 まとめ・表現 これまでかきためてきた記録カードや作品を整理してまとめる。 記録カードや作品から 1 年間の成長を振り返り、グループや全体		整まります。		・入学した時の自分と現在の自分を比較し、できるようになったことを見付けている。 (行動観察)・相手や目的に応じて、活動や発表の仕方を考え、工夫している。
12	で紹介し合う。 (課題設定 情報収集	知	情		(行動観察) ・自分の成長は、周囲の人々に支えられていることに気付いている。 (ありがとうカードの分析) ・写真や体験したこと、友達から聞いた
	を伝える計画を立てる。		113		ことなどから情報を収集している。 (ロイロノート・スクールのカードの 分析)

13	整理・分析 「ありがとう」を伝えるための 準備をする。	整		どのように、伝えれば感謝が伝わるか、考えながら、方法に気付き試そうとしている。(発言、ありがとうカードの分析)
14	課題設定	整		写真や体験したことなどを基に、新 1 年生に伝えたいことを選んでいる。 (行動観察)
15	新 1 年生のために、自分たちに できることを話し合う。 教室を飾るための作品をつく る。		協	・課題解決に向けて、友達のアドバイス や意見を聞きながら活動に取り組み、 そのよさに気付いている。 (行動観察)
16	まとめ・表現 作品を飾ったり、教室を掃除し	ま		・相手や目的に応じて、活動や発表の仕 方を考え、工夫している。 (行動観察)
17	たりする。		粘	これまでの成長を支えてくれた人々に 感謝の気持ちを持ち、これからの成長 への願いをもって、生活しようとして いる。
18	ふり返り 2年生になって取り組んでみた いことなどについて話し合う。		*	(行動観察)1 年間の成長を振り返り 2 年生になったら挑戦してみたいことを友達に話している。(行動観察、発言の分析)

6 本時の目標及び学習展開

(1) 本時の目標

成長を振り返る中で、お世話になった人やものに気付き、感謝の気持ちをもち、「ありがとう」の 内容や伝える方法を考えることができるようにする。

(2) 本時の学習展開

お手紙に絵を描きたい。メッセージカードを書く。

6 「ありがとう」のメッセージカードを書く。

・掃除をする。・飾りつけをする。

(2) 本頃の子自成用						
主な学習活動	○指導上の留意事項					
〇指導者の主な発問 ・児童生徒の思考	★評価規準、※評価方法					
 1 1年間を振り返る。 ○1年間を振り返ってどのようなことができるようになりましたか。 ・ひらがなやカタカナが書けるようになりました。 ・難しい漢字が書けるようになりました。 ・あやとびができるようになりました。 ・友達に優しい声掛けができるようになりました。 ・計算カードがはやくできるようになりました。 ・嫌いなものをたべられるようになりました。 	〇日々の様子や行事、参観日で行った「できるようになったこと」を発表した様子の写真を提示し、想起しやすくする。					
 2 お世話になった人やものを交流する。 ○1年間でたくさんのことができるようになりましたね。どうしてできるようになったのかな。 ・たくさん練習しました。 ・友達にアドバイスしてもらいました。 ・お母さんとたくさん練習しました。 ・先生に教えてもらいました。 	○どうしてできるようになったのかを考えることで、自分の成長には、支えてくれた人がいることに気付けるようにする。○一人一つの意見がもてるように、ロイロ					
〇お母さんやお友達のおかげで、できるようになったのですね。他にも、お世話になった人はいませんか。	ノート・スクールを使用する。 〇人だけではなく、教室や1年間使ったも のに感謝の気持ちがもてるような声掛 けをする。					
〇仲間分けをしてみましょう。	OX チャート(おうちの人、お友達、先生、 もの)で分類し、仲間分けをする。					
3 本時の課題をもつ。						
4 どんな、「ありがとう」を伝えたいか交流する。 〇どんな、「ありがとう」を伝えたらよいかな。 ・あやとびをおしえてくれてありがとう。 ・おべんきょうをおしえてくれてありがとう。 ・いつも「あそぼう」とさそってくれてありがとう。 ・いつもやさしくしてくれてありがとう。	〇支えてくれた人がいたから、できるようになったことがあることに気付けるようにするために、「なぜ、できるようになったのか。」問う声かけを行う。					
5 どんな方法で伝えるか考える。 〇どんな方法で「ありがとう」を伝えたいですか。 ・直接「ありがとう」を伝える。 ・お手紙を書きたい。	○感謝を伝える手段が思いつかない児童には、国語の授業で手紙を書いたことを 思い出させるようにする。					

○どんなことに気をつけて書けばよいですか。

- ていねいな字で書く。
- くわしく書く。
- もらった人がうれしい手紙にする。

- 〇手紙を書くときやもらった時の気持ちを思い出すことで、気を付けて書けばいいことを考えられるようにする。
- ★自分の成長は、周囲の人々に支えられていることに気付いている。
- ※ありがとうカードの分析

7 本時の学習をまとめる。

○だれにどんな「ありがとう」を伝えますか。

- **(**例) おせわになった人に、くわしい「ありがとう」の気もちをカードにかけばよい。
- 8 振り返りをする。
- ○今日の学習を振り返りましょう。
- 教えてくれた人がいたからできるようになったことが わかりました。
- カードをくわしく書くのを頑張りました。
- つぎは、書いたカードを渡したいです。
- つぎは、教室をきれいにしたいです。

(3) 板書計画

